



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

なくそう犯罪通信

平成23年3月号

発行・編集

広島県警察本部
減らそう犯罪推進室
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

なりすまし(オレオレ)詐欺の被害防止

振り込み詐欺の被害は、本年に入り、9件発生(2月22日現在)し、その全てがなりすまし(オレオレ)詐欺です。

その手口としては、警察官や銀行協会職員を名乗り、

- ・ 「キャッシュカードを落としたり盗まれたりしていませんか。あなたの個人情報
が漏れています。これからキャッシュカードを取りに行きます。」

といった内容のほか、厚生労働省職員や県庁職員等を名乗り、

- ・ 「医療費や保険金の払い戻しがあります。還付手続きをするので、これからキャッ
シュカードを取りに行きます。」

という内容です。

「カードを預かります」という電話は詐欺です。このような電話がかかってきたら、迷わず即座に110番通報してください。

ひったくりの被害防止

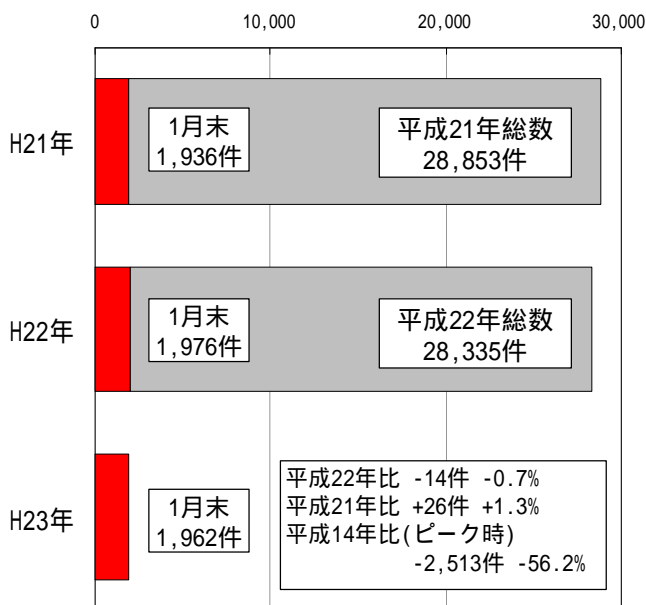
県内では、本年に入り、ひったくり事件が多発しており、認知件数は35件(本年2月22日現在)と前年に比べて大きく増加しています。

被害の主な特徴は、被害者の94.3%が女性で、手に持ったカバン等をひったくられた被害が62.9%、自転車の前カゴに入れていた被害が25.7%です。また犯人の7割は原付等のバイクを使用しています。

以下のポイントを心がけて、被害に遭わないようにしましょう。

- ・ 車道側にカバンを持たない！
- ・ ショルダーバック等はタスキ掛けにする！
- ・ 後方からバイクの音が聞こえたら振り返って確認する！
- ・ なるべく明るく人通りの多い道を選ぶ！
- ・ 自転車の前カゴにはひったくり防止ネットを付ける！

県内の刑法犯認知状況 (H23.1末現在)



県内の交通事故発生状況(H23.1末現在)

死者数が、前年の同じ時期より5人減少しています。死者数に占める高齢者死者数の割合は66.7%です。(全国平均49.5%)

区分	H23.1末	H22.1末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	1,233件	1,195件	38件	3.2%	
死者数	9人	14人	-5人	-35.7%	
負傷者数	1,575人	1,533人	42人	2.7%	
高齢者	事故件数 (1当+2当)	348件	348件	0件	0.0%
	死者数	6人	5人	1件	20.0%
飲酒	事故件数 (1当)	8件	13件	-5件	-38.5%
	死者数	1人	1人	0件	0.0%

平成22年中の少年非行の概要

平成22年中の非行少年(1)の検挙・補導人員は3,675人で前年比142人増加しています。このうち刑法犯により検挙・補導された少年は3,371人で、窃盗犯が2,138人と58.1%を占めています。その罪種別、学業・職業別は下図のとおりです。また、刑法犯少年に占める初発型非行(2)の割合は、円グラフのとおりで、万引きが1,345人と39.9%を占めています。

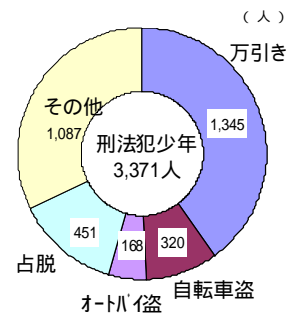
非行の特徴としましては、小・中学生が非行少年の55.2%を占め、前年比で小学生は22人減少したものの、中学生は161人増加しており、非行の低年齢化が進んでいます。

非行少年の検挙・補導状況

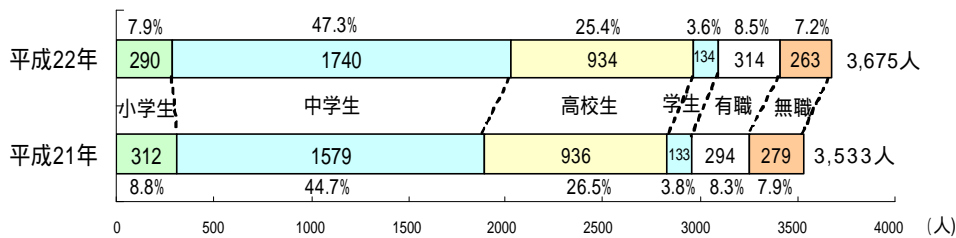
《 刑法犯罪種別 》

	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	その他
平成22年	3,371	22	398	2,138	16	797
平成21年	3,200	21	313	1,958	33	875

《 刑法犯に占める初発型非行の割合 》



《 学業・職業別 》



1: 非行少年とは、犯罪少年、触法少年、ぐ犯少年をいいます。

2: 初発型非行とは、刑法犯のうち、本格的な非行の入口となる万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領をいいます。

平成23年～平成27年

なくそう犯罪 ひろしま新アクション・プラン

～ 犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

